



大事協だより

大島地区公立小・中学校
事務職員協会 研修部
第 82 号
2023年10月27日発行



10月を過ぎてもなかなかの暑さが残っている様子が各地で伺えます。昨年は11月くらいまでセミが鳴いていた記憶がありますが、今年もそれくらいまで元気がありそうです。

また、各学校や地域で運動会や文化的行事が復活して賑わっているとも伺っています。皆さまそれぞれ楽しみつつ、体調には十分気をつけてお過ごしください。



【各地区からのおたより】

今回の原稿は、【宇検村】・【瀬戸内町】、新規採用の松元先生から寄せて頂きました。併せて瀬戸内町からは支援室だよりも提供していただきました。ぜひご覧下さい。



【宇検村事務職員部会】

皆様、こんにちは。宇検村事務職員部会です。

大きなニュースにもなったのでご存じの方も多いと思いますが、宇検村は、今年の6月の豪雨により、いくつかの集落で崖崩れが起き、道路が寸断されたところがありました。集落が孤立し、学校職員も数日間、船での通勤を余儀なくされました。近年の異常気象を感じる出来事でした。

宇検村事務職員部会ですが、宇検村の教科・領域部会に属しており、年3回の研修会を行っています。その場には、村教委の財務担当者も出席します。村教委へ直接、要望を出せる貴重な機会ですので、そこで学校の要望を出しています。要望してここ1~2年間で実現したことを紹介します。食材費高騰による給食費補助金の増額、就学援助費等の保護者口座への直接振込、特別教室のエアコン設置、学校への講師謝金の予算化、村費職員の児童生徒引率時の旅費の支給等が実現しました。

事務職員部会と村教委が良好な関係を保っているため、これから研修会を大事にしていきたいと思います。



【瀬戸内町事務支援室】

瀬戸内町は、加計呂麻島・請島・与路島など3つの離島を抱えており、小学校単独校4校、中学校単独校1校、小中併設校7校あります。町内に最大18名いた事務職員は、過疎化の影響を受けて、今年度は、昨年度8名から1名減の7名となりました。小規模校や極小規模校が多いので、7名中6名が、複数校兼務している状況です。

支援室と研修会は、同じメンバーで構成されており、支援室は年19回（午前中開催16回、終日開催3回）、研修会は年8回、支援室終了後の午後から開催しています。昨年度までは、4半期毎の自主検査に併せて、奄美大島本島および与路島側（会場：執務室）と加計呂麻側（会場：輪番）と2日日程で諸帳簿の相互点検を行っていましたが、移動の際のリスクを避けるために、今年度から研修会の開催にあわせて、学校を訪問させていただき実施しています。5月2日に与路校を訪問させていただきましたが、与路校の先生方は、公共交通機関を乗り継ぎ、厳しい環境下で、毎回の研修会に参加されていることをあらためて感じる機会となりました。10月は、3日に伊子茂小中学校と、17日に諸鈍小中学校の訪問を計画しています。

また、10月には、久しぶりに管外研修視察を2泊3日行程で計画しており、現在は、視察に向けて準備を進めています。視察先では他市町村の事務処理のあり方や福利厚生団体の取組について学ばせていただき、意見交換を通じて学校事務職員としての見識を深める機会になればと考えています。





【新規採用者からの声】

宇検村立阿室小学校 松元 菜月

皆さん、こんにちは。今年度より新規採用で宇検村立阿室小中学校に赴任いたしました、松元菜月と申します。初めての奄美で不安と期待と半々だったのですが、赴任当初からなかなかない経験をしました。4月の辞令交付式のあと車に乗せて夕方の船で奄美に来る予定でしたが、当日に船が欠航と分かり急いで手続きをして次の日の朝の飛行機で到着し、車は後日親に送ってもらいました。また、6月の大雨災害では私の集落は孤立し、停電が2日続きました。奄美に来て早々大変な思いをしましたが、現在は充実した生活を送ることができています。

学校の先生方もとても良くしてくださり、着任の際は約2時間かけて空港まで迎えに来ていただいたり、車を受け取る際も名瀬港まで送ってくださったり、阿室校の先生方が暖かく迎えてくださったので今も頑張れています。仕事内容は分からないことだらけでしたが、宇検村の事務職員の先生方が阿室まで来てくださったり、支援室で分からないことを教えてくださったり、たくさん助けて

いただいています。何も分からない私に優しく教えてくださり本当に感謝しています。未熟な私ですが、少しずつ成長していきたいと思っています。よろしく願いいたします。



【学校事務現状報告会について】

地区事務職員研修会当日に環流報告がありましたが、8月10日(木)、鹿児島市の県教職員互助組合会館にて、学校事務現状報告会が行われました。台風6号の動きが遅く影響が長引いたため、大島地区からの参加者数名が鹿児島へ行くことができず、欠席をせざるを得ない状況となりました。

そんな大変な状況の中、たくさんの方のご協力を得ることができ、無事にレポート発表を終えることができました。レポーターのお二人を始め、お力添えいただいた皆さまに感謝申し上げます。



【奄美群島日本復帰 70 周年に寄せて】

今年は奄美群島日本復帰 70 周年ということで、奄美市内では様々な行事や講演会が行われています。あまみ大島観光物産連盟からは記念の T シャツが販売されていました。また、コロナ禍の影響で延期されていたかごしま国体の実施とも重なり、奄美本島で初の競技開催となりました。10月13日(金)～15日(日)に奄美市名瀬運動公園サンドームにて国体の相撲競技が行われ、大変賑わった様子でした。これまで実施が延期・中止されてきた行事等の再開もあり、各地で活気が戻ってきて嬉しく思っています。

奄美にきて復帰運動に関連する講話を聞くことや資料を読む機会が増えました。戦後、奄美群島は日本から行政分離され、米国統治下での 8 年間の復帰運動は奄美の人たちの民族運動です。その中で教職員も多くかかりました。日本復帰の父・奄美のガンジーと呼ばれた泉芳朗氏も元教職であり、本土の新しい教育制度の教科書・資料を持ち帰るために密航し職を辞した 2 人の青年教師もいました。ほんの一部の紹介ですが、このように復帰運動に関わった方々が、予想を超える大変さを抱きながらもあきらめずに活動し続け、日本復帰を果たしたおかげで今の奄美群島があります。これらのことは記憶を風化させず、記録として残し、後世に伝え続けなければならないことだなと感じました。この機会に皆さまも先人の歴史、文化、労苦、功績を児童・生徒とともに学んでみてはいかがでしょうか。

奄美市のホームページでは「奄美群島日本復帰 70 周年特設サイト」が設定されています。そちらに復帰運動当時の資料や、70 周年に伴って開催予定の行事等紹介されていますので、ぜひご覧ください。

(文責：大事協 副会長(研修) 坂下 由香理)



奄美群島日本復帰 70 周年
ロゴ入りポロシャツ



【次回の大事協だよりについて】

大事協だより第 83 号は 12 月発行予定です。編集担当は【知名町】、原稿作成は、【奄美市東部・住用地区】、【喜界町】です。よろしくお願いします。

今回(第 82 号)の編集は、【与論町】が行いました。ご協力、ありがとうございました

